



こぐ ゆれる
体を支えるための背もたれがあり、体をしっかり固定するハーネスが付いたブランコ



ねそべる ゆれる
くぼみのある円盤形のシートに複数人で乗って遊べるブランコ

姿勢を保つことが難しい子ども寝そべてブランコ遊びを楽しめます



のぼる もぐる
上部には登ることができ、中に潜ってひと休みしたり、おしゃべりをしたりすることができるドーム型の遊具



感情のコントロールが苦手な子が落ち着きを取り戻すスペースにもなります

のる ゆれる
またがったり、ねそべったりしながら、ゆらゆら揺れる遊具

ゆらゆらする感覚は体の使い方を自然と学ぶことができ、落ち着きをもたらす効果があります



ウォーキング・ランニングコースもご利用ください

緑豊かな自然の中で木陰があり、土を中心とした路面など、既存の環境を生かしたウォーキング・ランニングコースを、野球場と陸上競技場の周囲に整備しました。
100m単位の表示や照明灯の設置、クッション性のある樹脂舗装（陸上競技場北側部分だけ）を導入しています。健康づくりなどに、ぜひご利用ください。



特集2

楽しい遊具が待ってるよ

こども広場がオープン!



豊川公園内に「こども広場」が、この春オープンしました。今回の特集では、新しく設置された遊具など、こども広場の魅力を紹介합니다。詳しいことは、公園緑地課（89-2176）へお問い合わせください。

豊川公園周辺図



豊川市役所に隣接する豊川公園。今回オープンしたこども広場の特徴は、誰もが皆、一緒に遊べる広場であることです。年齢や身体能力などに関わらず楽しめる遊具の他、飛び出し防止のフェンスや複数のベンチ、身障者・妊婦など優先駐車場の設置といった、安全で便利に利用できる工夫を凝らしています。

インクルーシブな広場

障害のある子もいない子も、それぞれの個性に合わせて遊べる5つの遊具を新たに設置しました。また、地面に衝撃を和らげるゴムチップを導入したり、ベンチの隣にベビーカー・車いす用スペースがあったり、あらゆる人に配慮したインクルーシブの概念に基づいて作られた広場になっています。

みんなが一緒に遊べる広場

生まれ変わる豊川公園

市の中心市街地・諏訪地区に位置する豊川公園。昭和25年、運動公園として整備する都市計画が決定され、庭球場、野球場、陸上競技場、総合体育館、プールなどの各施設が順次整備されました。リレーマラソンなどのスポーツイベントや市民まつりのメイン会場になるなど、まちの活性化にも大きな役割を担っています。

公園が整備されて70年以上が経過し、施設の老朽化や利用者のライフスタイルの変化など、公園を取り巻く環境も変わってきました。市では、より多くの人々がスポーツや交流を楽しめる場とするため、公園のいっそうの機能充実を図り、現在再整備を進めています。

令和3年度はこども広場やランニングコースの改修を終え、今後は芝生広場や12面のテニスコート、キューパティール広場などを順次整備していきます。